

| 会議の実施日時 | 令和4年6月22日 14:00~15:00 令和4年度第1回 |
|---|--------------------------------|
| 報告事項1 (地域医療構想の進め方について) | |
| <p>○ 事務局より、「地域医療構想の進め方」について説明</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域医療構想の進め方について(令和4年3月24日付け厚生労働省医政局長通知)の概要・ 広島県の令和4年度保健医療計画・地域医療構想のスケジュール(予定)案 <p>《質問・意見等》</p> <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 下蒲刈病院の経営強化プランについては、今後、下蒲刈病院と呉市の担当課において調整され、次回以降の調整会議において協議を進めていくということによいか。 <p>【呉市濱田委員(代理:多田福祉保健部副部長)】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和5年度の策定に向け調整していくので、よろしく願います。 | |
| 報告事項2 (呉圏域の現状について) | |
| <p>○ 事務局より、「呉圏域の現状」について説明</p> <ul style="list-style-type: none">・ 呉圏域における人口の推移・ 令和3年度病床機能報告結果(呉圏域分)・ 第1回病床部会における意見等について <p>《質問・意見等》</p> <p>【呉市医師会大村委員】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 病床単位で分析すると、回復期に慢性期が含まれていたり、慢性期に急性期が含まれていたり混在してしまう。一人一人の患者を全数調べればダイレクトに区分ごとの病床数が分かると思うので、できればそういう分析をお願いしたい。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今年度から、圏域においてもエミタスのデータも利用できるようになった。そういったツールも活用し、できるだけ、いただいた意見等を踏まえたデータの分析を行い、示していきたい。 <p>【呉共済病院寺坂委員】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 急性期・回復期の区分について、心不全や肺炎を回復期で診ようといった話も出てきているようだが、病棟で急性期・回復期を区分するのはなかなか難しい面がある。病床で区分すれば簡単にできるのではないかと考えるがどうか。また、DPC7対1で続けていきながら、回復期とすることに問題はないか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 病棟単位で区分することについては、地域医療構想及び病床機能報告の考え方がそうなるため、現在のところ保健所としてもそれに合わせた対応をしている。 ただし、病棟単位での考え方については問題点もあると考えられるため、県に対する意見として上げていきたい。・ また、元年度には「定量的基準」について、圏域でも、どういう形で報告していただくか議論していただいている。今後、分析・検討を行う際には、改めて区分の考え方についても提示させていただいた上で御協議いただきたい。 | |

【呉共済病院寺坂委員】

- ・ 当院でも地域包括ケア病棟を作ったが、400床以上の病院では地域包括ケア病棟が作れないという国の制約がある。

急性期の病院に回復期を作るということは他の病院でも考えられるのではないかと思うが、国の方針と県の地域医療構想の方針にギャップがあるのではないか。

【中西アドバイザー】

- ・ 皆様の御意見はもったもである。実際に、病棟単位で区分を届け出るのは難しい。

国も最後にまとめる際には病床数での整理をしているので、広島県としてもエミタスのデータ等を用いて実際の急性期及び回復期の入院患者数をきちんと算出した方がよい。

- ・ 地域医療構想については、病床の話ばかりになってしまい、看取りや在宅を含めて出口のところの検討をしていない。広島県においても療養病床数については非常にファジーな書き方をしている。

介護療養病床を止めた時点で、介護医療院といった新しい制度も踏まえて、療養病床が本当にどれだけ必要なのかといった検討をこれから行っていかなければならないと思っている。

【呉医療センター下瀬委員（代理：繁田外科系診療部長(兼)感染対策室長）】

- ・ 新型コロナ感染症対応を経験して、皆さん、平時における医療と一度何かが起きた時の医療との違いは身に染みてお分かりだと思うが、急性期と回復期の割り振り等の議論は平時の場合のことばかりで、これで、もし次の新型の感染症が流行した場合に対応ができるのか。

急性期機能を一旦減らしてしまうと、なかなか元に戻すのは難しい。

【玉木会長】

- ・ 先日の病床部会で私からも少し確認をしたが、国の方針としては、新型コロナウイルス感染症の対応も踏まえて検討することとされているが、病床区分は5年前と同じであり、有事と平時ということでは平時に決めた病床数である。

また、広島県においては、県が独自に定めた定量的基準に基づいて病床を区分しているが、これもコロナ前に決めたもので、変わっていない。

こうした中での病床数の意味付けはどう考えるのか。

【医療介護政策課】

- ・ 新興感染症については、現在、国においても、第8次医療計画に向けて平時と感染拡大時の対応について検討しているところである。

国の検討状況を見ながら、国の取りまとめが今年の12月までに行われる予定となっているため、それを踏まえて広島県としてどうするべきかを検討していきたいと考えている。

【呉医療センター下瀬委員（代理：繁田外科系診療部長(兼)感染対策室長）】

- ・ 国としては、コロナ前に定めた計画をそのまま推し進めているだけのように感じるが、これだけの事態が起きて変更しないというのはおかしいのではないか。

【玉木会長】

- ・ なかなかまとまらない部分もあるが、委員からこうした意見があるということ踏まえて、県の方でどう考えるのかということ2回目の調整会議に上げるようお願いする。

報告事項3（地域で不足する外来医療機能を担うことに係る申出について）

報告事項4（医療機器の共同利用計画について）

○ 事務局より、地域で不足する外来医療機能を担うことに係る申出書及び医療機器の共同利用計画書の提出について報告

① 外来医療機能を担うことに係る申出書

- ・ こころのクリニックこかげ
- ・ さゆりクリニック

② 医療機器の共同利用計画書

- ・ 医療法人社団仁風会 青木病院

《質問・意見等》

特になし。

協議事項（医療法人エム・エム会における病院統合について）

○ 事務局より、病院統合についての概要を説明。

- ・ 病床部会におけるこれまでの協議状況
- ・ 統合後の病床数等

○ 医療法人エム・エム会より、病院統合の内容について説明。

- ・ 病院の現状について
- ・ 佐藤病院の合併について
- ・ 移転新築に係る補助金の活用について

《質問・意見等》

【住吉浜病院吉中委員】

- ・ 回復期病床は5床増えているが、慢性期病床は27床減っている。
介護医療院へ12床転換となっているが、これは病院の病床数にはカウントできないので、22床の病床減となるのではないか。

【事務局】

- ・ お見込みのとおりである。
介護医療院については病院の病床数から落とすことになるため、病院の病床数としては、106床から86床となり、22床の削減である。
削減する22床のうち、12床はベッドを全く無くしてしまうのではなく介護医療院に転換する形であり、残りの10床については、完全に削減するものである。

【中西アドバイザー】

- ・ 介護医療院については、病院の病床数からは削除される。
病床数は2割削減していただいております、基金の活用についても大丈夫ではないか。
- ・ 呉市としては、介護医療院の増床については、介護保険上今のところは大丈夫か。

【呉市濱田委員（代理：多田福祉保健部副部長）】

- ・ 介護医療院については、介護療養病床又は医療療養病床から転換する場合は、介護保険事業計画上の位置付けは必要ないこととされており、協議の上で認めさせてもらっているので特段問題はない。

事務局及び医療法人エム・エム会の説明並びに質疑応答のうえで、地域医療構想に則したものであること及び病床機能分化・連携促進基盤整備事業等の補助金を活用することを含め、医療法人エム・エム会における病院統合について確認・共有した。

その他

【呉共済病院寺坂委員】

- ・ 急性期・回復期・慢性期と如何に呉市の医療を守っていくかということが一番に考えないといけない。

急性期も回復期も、他の病院でも急性期から日直や当直に行ったりしているが、働き方改革の問題とリンクさせていきながら話を進めていかないと、急性期の医療を守れないかもしれない。

夜間の救急は受け入れできないということが出てくる可能性もある。

調整会議の場でなくても、救急の病院や回復期、その他の病院を守るということを含めて、進捗状況等を話し合う場があればよいと思うので、よろしく願います。

【玉木会長】

- ・ 厚生労働省からも新型コロナの感染拡大が起きたということと2024年度に始まる医師の働き方改革を踏まえて地域医療構想を進めていくという方針が示されている。

新型コロナ以前と必要病床数は変わっていないということで、矛盾しているところはあるが、今後、年度内に呉圏域の地域医療構想調整会議は3回予定されているので、その中で圏域の状況を照らし合わせて協議していく必要がある。

【事務局】

- ・ 本日いただいた意見も踏まえ、2回目以降の調整会議において具体的な内容についての協議をお願いしたい。また、調整会議以外における協議の場についても考えさせていただきたいと思うので、引き続きの御協力をお願いする。